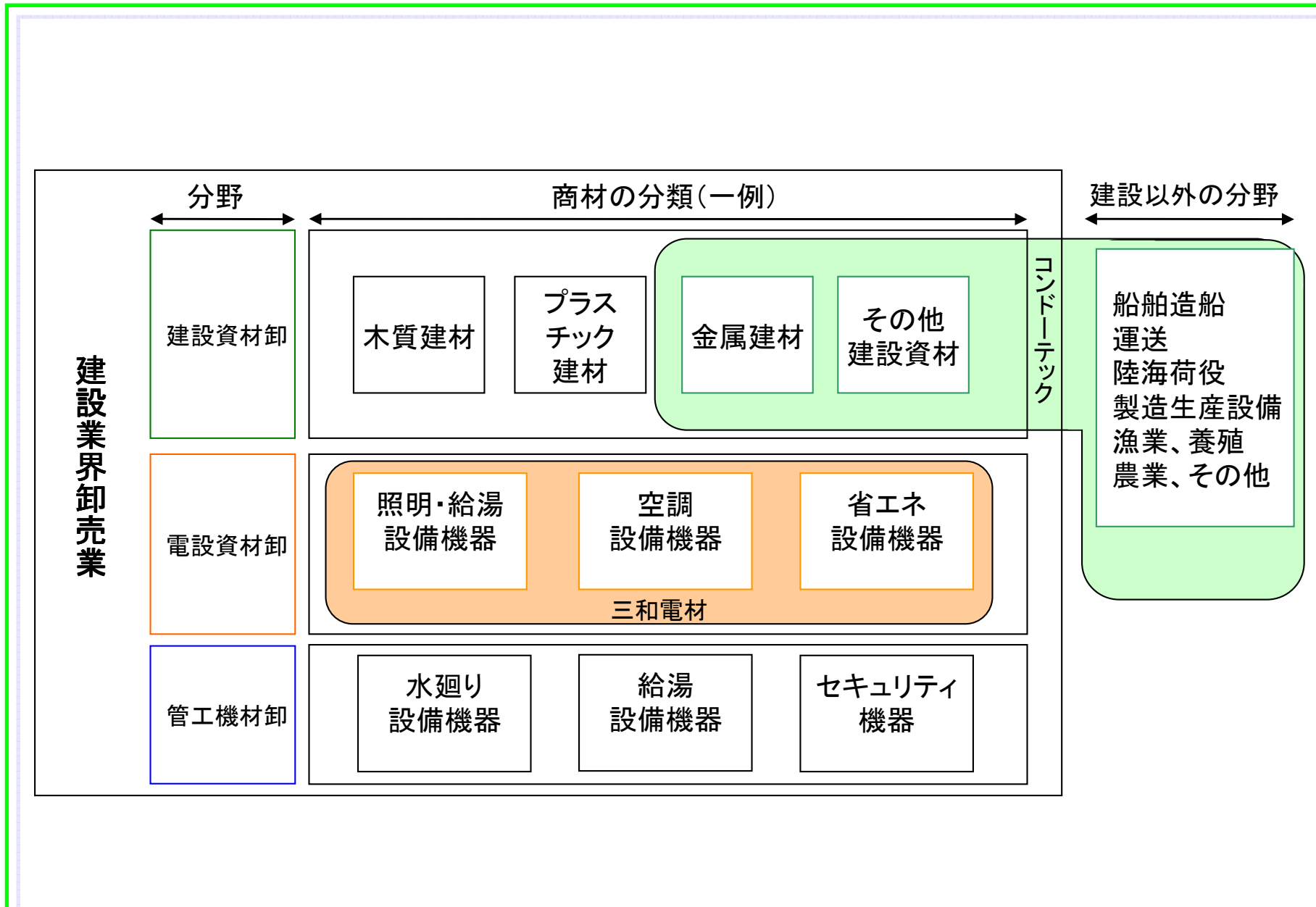




# 平成24年3月期 決算資料

商号	コンドータック株式会社 (KONDOTEC INC.)		
グループ会社	三和電材株式会社(平成22年4月19日に子会社化)		
創業	昭和22年4月1日(1947年)	代表取締役社長	菅原 昭
本社	大阪市西区境川二丁目2番90号	従業員	556名(単体)658名(連結) (平成24年3月末現在)
資本金	23億2,810万円	上場区分	東証・大証 1部
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 金物小売業を中心に、産業資材を製造・仕入販売。</li> <li>・ 鉄骨加工業者向けに、鉄構資材を製造・仕入販売。</li> <li>・ 電気工事業者や電気小売店向けに、電設資材を仕入販売。</li> </ul>		
主要取扱品目	<p>(製品) ターンバックル、足場吊りチェーン、ねじ製品、建設資材他</p> <p>(商品) 金物類、チェーン、ワイヤロープ、鋸螺、建設資材、 照明器具、分電盤機器、空調機器他</p>		

# 取扱商材の範囲





# 平成24年3月期 連結業績

単位：百万円

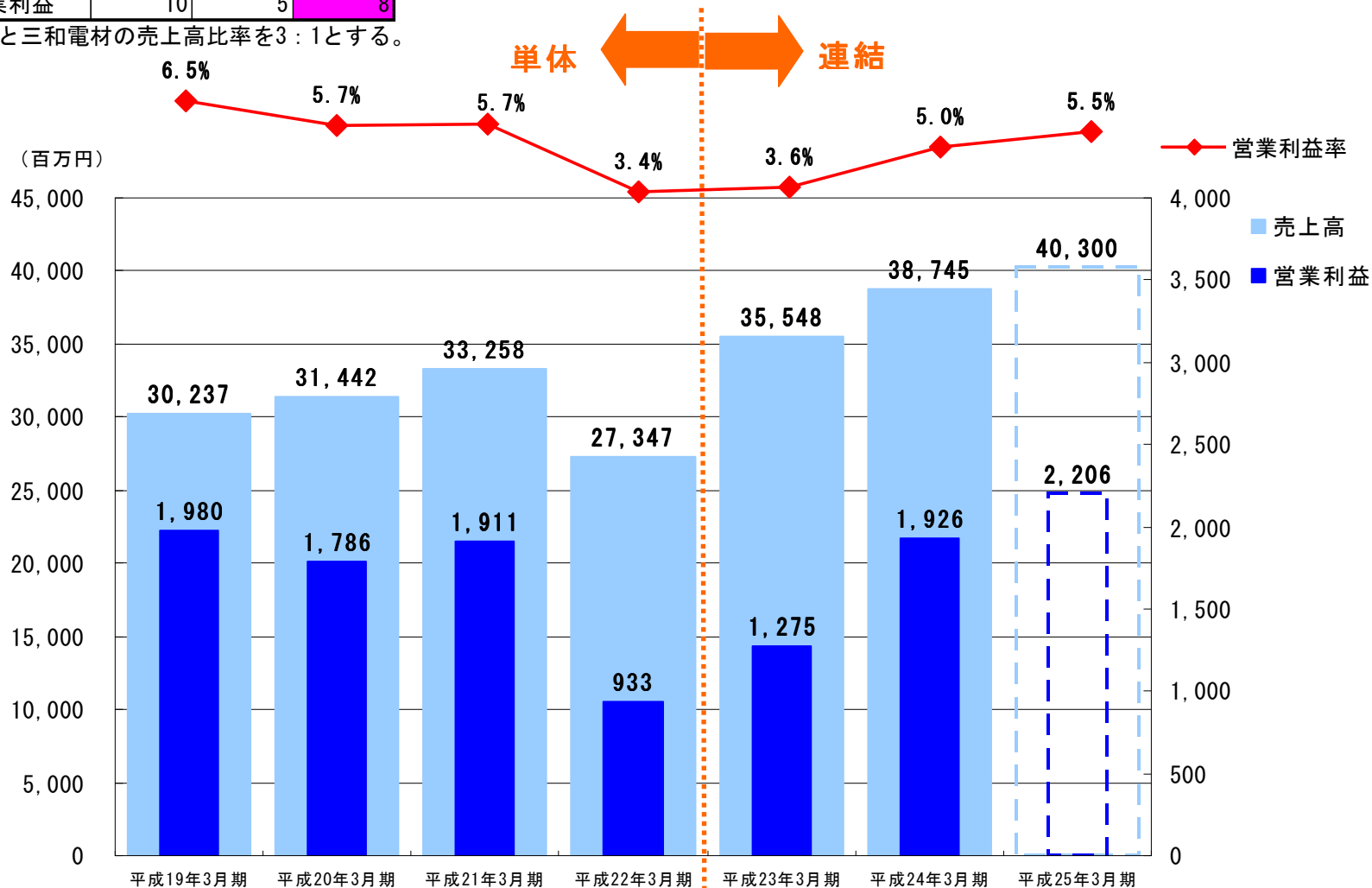
項目	前期	当期	前期比	
			金額	%
売上高	35,548	38,745	+3,197	+9.0
売上総利益	7,343	8,333	+990	+13.5
(売上総利益率)	(20.7%)	(21.5%)	(-)	(+0.8)
販売管理費	6,067	6,406	+339	+5.6
営業利益	1,275	1,926	+651	+51.0
経常利益	1,376	2,019	+643	+46.7
当期純利益	834	1,046	+211	+25.4

目標構成比 (単位: %)

	コンドーテック	三和電材	連結
売上高	100	100	100
売上総利益	25	18	23.2
販売管理費	15	13	14.5
営業利益	10	5	8

※当社と三和電材の売上高比率を3:1とする。

連結ベースでの目標営業利益率は8%です。



# 平成24年3月期 セグメント別業績

単位：百万円

項目	売上高			セグメント利益又は損失		
	前期	当期	増減率	前期	当期	増減率
産業資材	21,281	23,812	+11.9%	1,171	1,464	+25.0%
鉄構資材	7,593	8,539	+12.5%	9	337	+3464.0%
電設資材	6,673	6,393	△4.2%	149	98	△34.5%
調整	—	—	—	△55	26	—
計	35,548	38,745	+9.0%	1,275	1,926	+51.0%

※セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

# 平成25年3月期 連結業績計画

単位：百万円

項目	当期	計画	前期比	
			金額	%
売上高	38,745	40,300	+1,554	+4.0
売上総利益	8,333	8,845	+511	+6.1
(売上総利益率)	(21.5%)	(21.9%)	(-)	(+0.4)
販売管理費	6,406	6,638	+231	+3.6
営業利益	1,926	2,206	+279	+14.5
経常利益	2,019	2,279	+259	+12.9
当期純利益	1,046	1,273	+227	+21.7

# 平成25年3月期 セグメント別業績計画

単位：百万円

項目	売上高			セグメント利益又は損失		
	当期	計画	増減率	当期	計画	増減率
産業資材	23,812	24,505	+2.9%	1,464	1,644	+12.3%
鉄構資材	8,539	8,995	+5.3%	337	492	+45.8%
電設資材	6,393	6,800	+6.4%	98	160	+62.9%
調整	—	—	—	26	△90	—
計	38,745	40,300	+4.0%	1,926	2,206	+14.5%

※セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

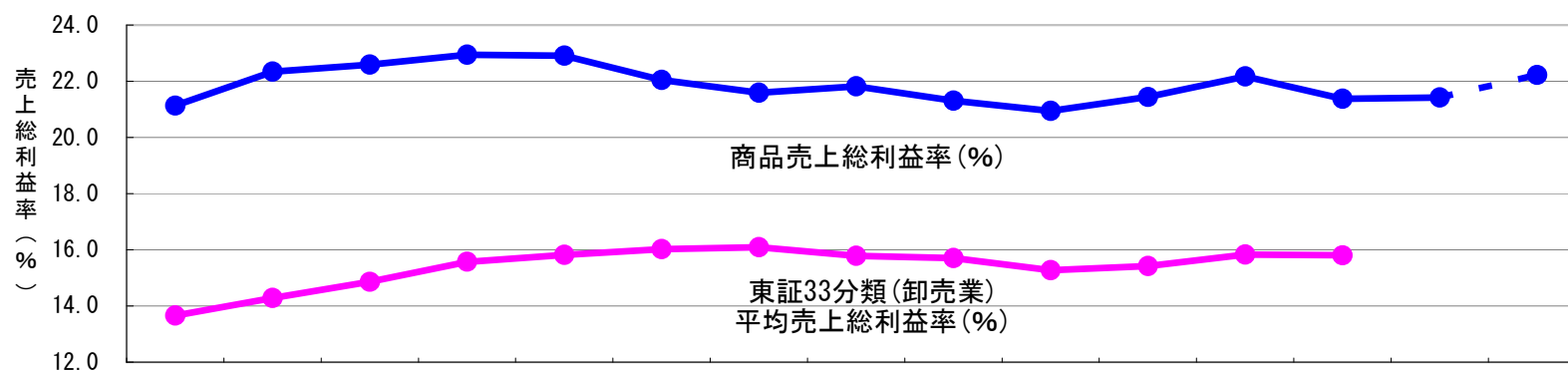
# 強み① 特定業界の動向に左右されにくい安定性

さまざまな業界に製・商品を提供



## 輸入商材・新商材・新業種への販売強化

### 商品売上総利益率（単体）・東証卸売業平均売上総利益率の推移

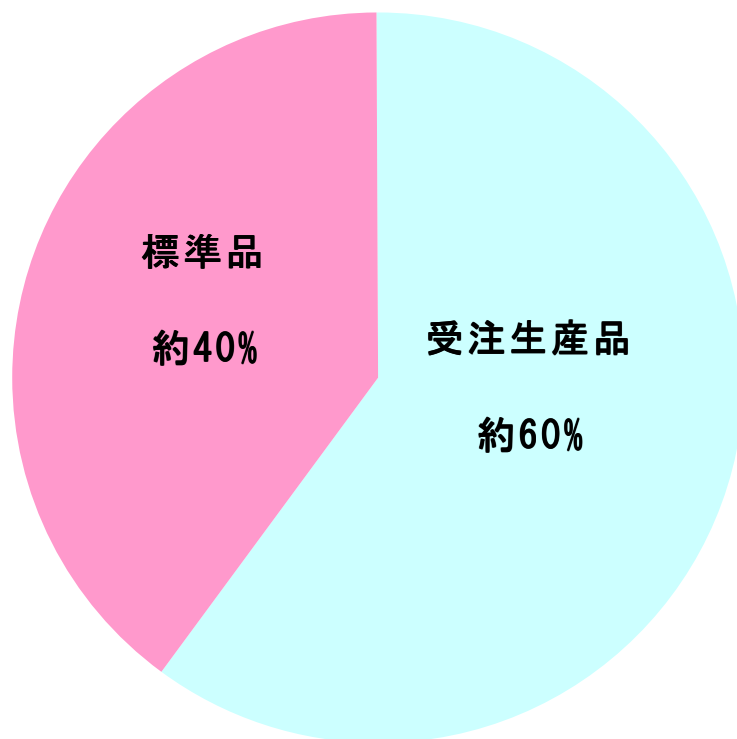


単位：百万円	第47期 平成11年3月期	第48期 平成12年3月期	第49期 平成13年3月期	第50期 平成14年3月期	第51期 平成15年3月期	第52期 平成16年3月期	第53期 平成17年3月期	第54期 平成18年3月期	第55期 平成19年3月期	第56期 平成20年3月期	第57期 平成21年3月期	第58期 平成22年3月期	第59期 平成23年3月期	第60期 平成24年3月期	第61期 平成25年3月期
商品売上高	18,812	19,175	19,161	18,165	17,755	18,250	20,593	22,255	23,852	24,925	25,863	21,770	23,191	25,822	26,492
商品売上総利益	3,975	4,285	4,329	4,168	4,067	4,024	4,446	4,855	5,084	5,220	5,546	4,828	4,958	5,532	5,888
商品売上総利益率 (%)	21.1	22.3	22.6	22.9	22.9	22.0	21.6	21.8	21.3	20.9	21.4	22.2	21.4	21.4	22.2
東証33分類(卸売業) 平均売上総利益率 (%)	13.7	14.3	14.9	15.6	15.8	16.0	16.1	15.8	15.7	15.3	15.4	15.8	15.8		

※第61期(平成25年3月期)については計画値を表記しております。

## 強み③ 国内4工場体制は大半が受注生産

海外からの参入障壁がある



主な生産品目

ターンバックルブレース



アンカーボルト



丸セパレーター



角フックボルト他

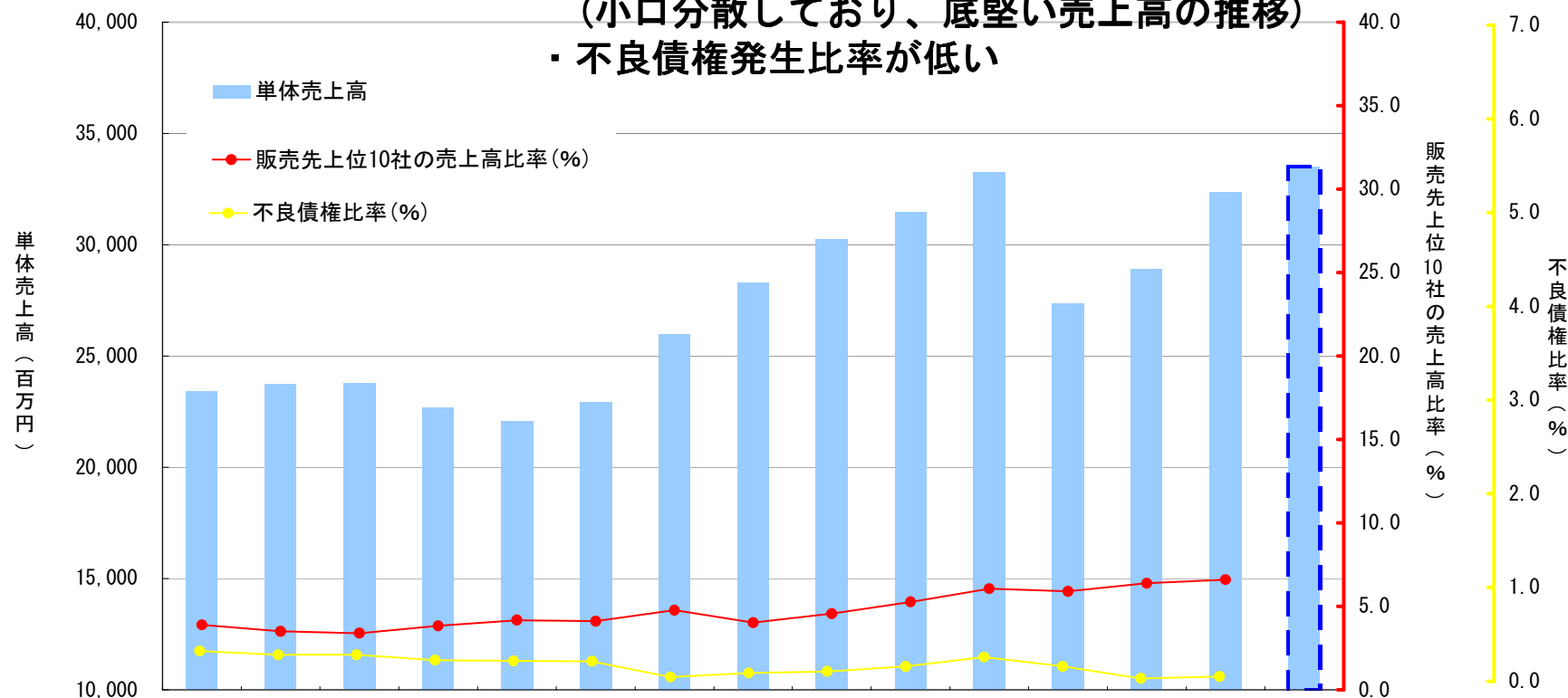


取扱商材は金属製品が多く、中国などでも簡単に生産でき、模倣品による市場の侵食、競争の激化が想像できますが、当社の製品は、設計図面から細かく仕様が規定され、精度の高さが要求される**受注生産品が約60%**を占めており、海外から侵食されることはほとんどありません。

# 強み④ 販売は小口分散・不良債権の発生比率が低い

企業リスクにさらされない強さ

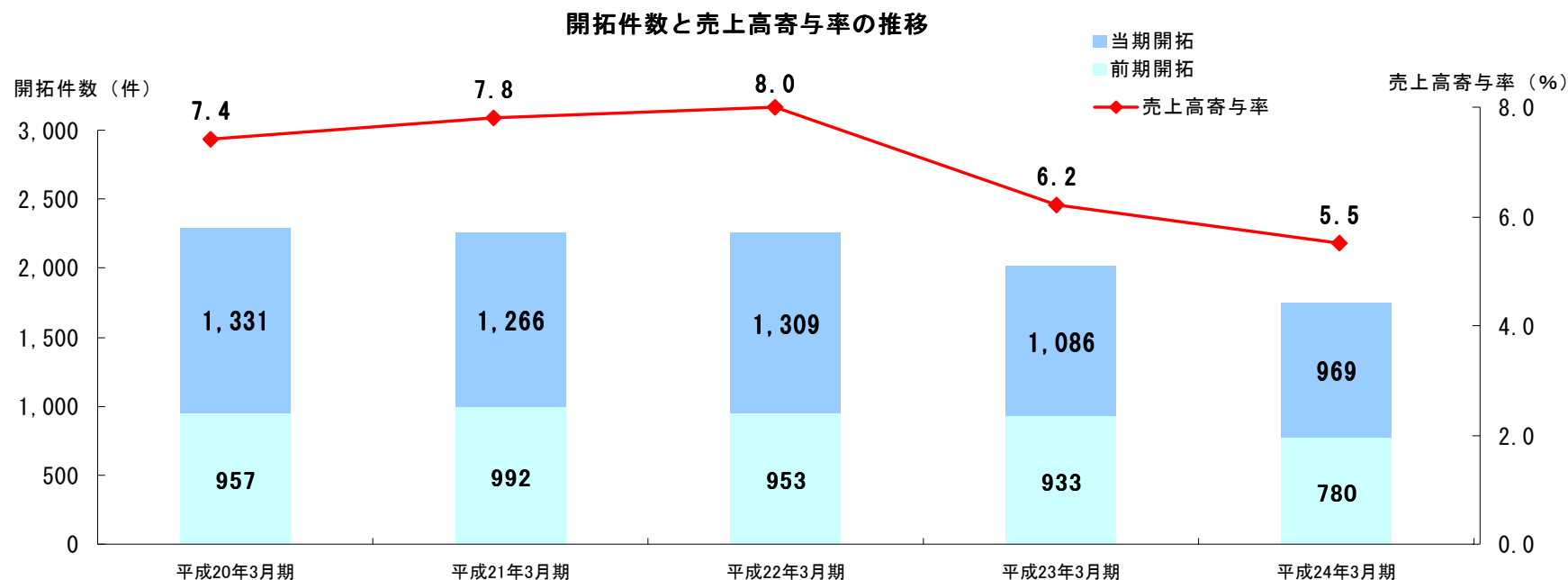
- ・ 販売先上位10社の売上高比率が低い  
(小口分散しており、底堅い売上高の推移)
- ・ 不良債権発生比率が低い



単位：百万円	第44期 平成11年3月期	第45期 平成12年3月期	第46期 平成13年3月期	第50期 平成14年3月期	第51期 平成15年3月期	第52期 平成16年3月期	第53期 平成17年3月期	第54期 平成18年3月期	第55期 平成19年3月期	第56期 平成20年3月期	第57期 平成21年3月期	第58期 平成22年3月期	第59期 平成23年3月期	第60期 平成24年3月期	第61期 平成25年3月期
単 体 売 上 高	23,387	23,719	23,764	22,659	22,062	22,932	25,978	28,274	30,237	31,442	33,258	27,347	28,883	32,362	33,500
販売先上位10社の売上高	910	831	807	869	922	943	1,238	1,140	1,379	1,656	2,016	1,612	1,845	2,150	
販売先上位10社の売上高比率 (%)	3.9	3.5	3.4	3.8	4.2	4.1	4.8	4.0	4.6	5.3	6.1	5.9	6.4	6.6	
不 良 債 権 額	76	67	67	51	48	49	12	25	32	50	86	43	9	15	
不良債権比率 (%)	0.32	0.28	0.28	0.23	0.22	0.21	0.05	0.09	0.11	0.16	0.26	0.16	0.03	0.05	

※第61期(平成25年3月期)の単体売上高は計画値を表記しております。

# 成長戦略① 新規販売先の開拓

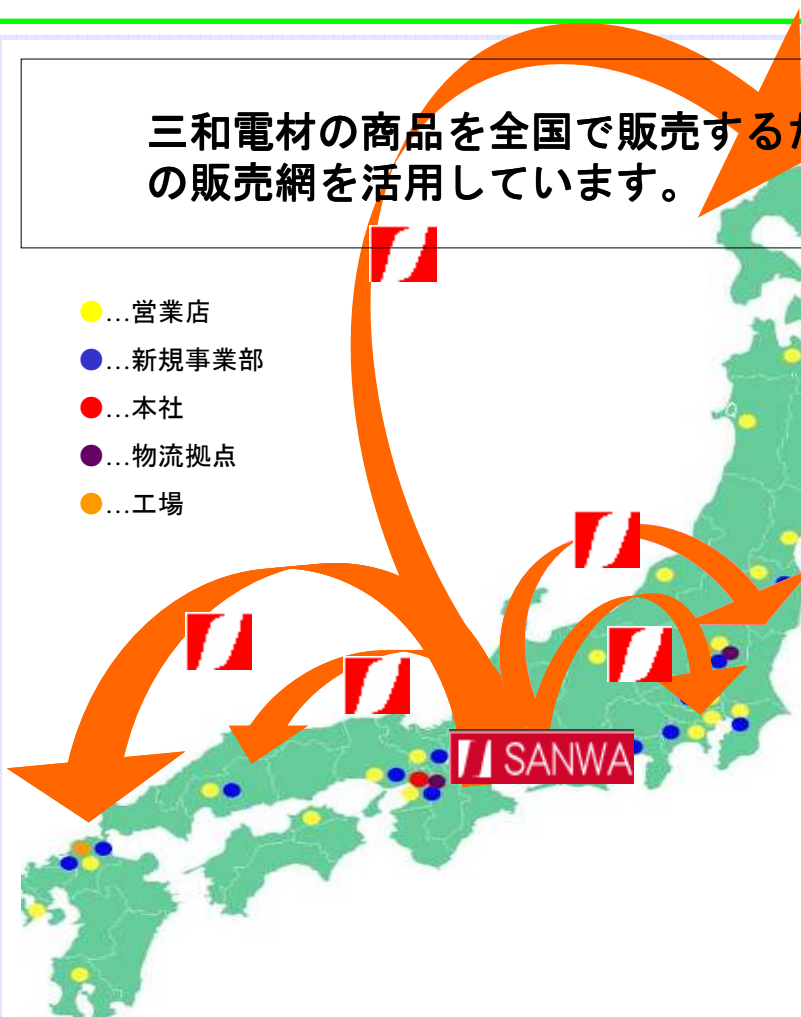


新規開拓	前期		当期	
	開拓件数(件)	単体売上高(百万円)	開拓件数(件)	単体売上高(百万円)
当期開拓	1,086	657	969	582
前期開拓	933	1,136	780	1,198
合計	2,019	1,793	1,749	1,781
売上高寄与率	—	6.2%	—	5.5%

# 成長戦略②-1 シナジーの最大化

三和電材の商品を全国で販売するためのネットワークとしてコンドーテックの販売網を活用しています。

- ...営業店
- ...新規事業部
- ...本社
- ...物流拠点
- ...工場



- 全国40カ店の販売網
- すべての営業店に倉庫機能を持たせ、地域密着型販売体制(クイックデリバリー体制)の確立
- 関西、関東にそれぞれ物流拠点を設置

平成22年11月 当社本社内に三和電材 大阪営業所を開設

シナジー実績

単位：百万円

		売上高
前期	コンドーテック	21
	三和電材	9
	合計	30
当期	コンドーテック	52
	三和電材	15
	合計	67

## 成長戦略②-2 シナジーの最大化

省エネ・自然エネルギーへの取り組み

電設資材卸業者の**三和電材株式会社**を平成22年4月に子会社化し、太陽光発電、LEDなど環境・エコ関連の成長分野への事業拡大が可能となりました。



LEDライト

エコキュート



2社協力のもとで、太陽光パネルの設置を行いました。（名古屋市営住宅屋上に設置）



コンドーテック  
外注先が製作



三和電材より仕入

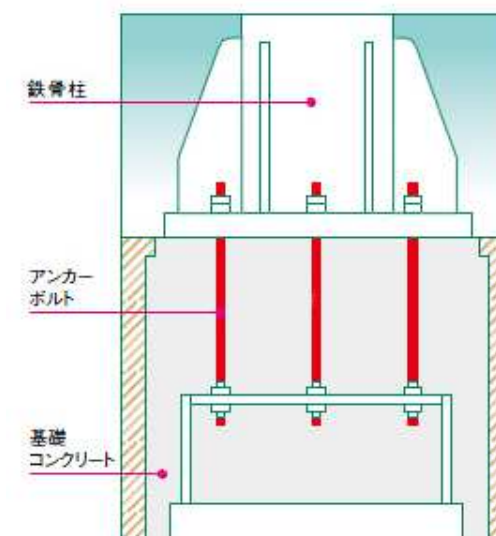
従来は現場から注文されることが多かったのですが、最近は集中購買のために中央の本部サイドから発注されるケースが増加しているため、東京支店に首都圏営業の専任部隊を設置することにより対応しています。



## 成長戦略④ アンカー施工

アンカーボルトは土地に施工した基礎コンクリートと建物をつなぐための重要部材で、基礎コンクリートに取り付けられた建物が移動や転倒することを防ぐ役割を持っています。

当社では、工場で生産して販売するのみでなく、土木施工管理技士を置いて建設業の許可を取得し、アンカー施工も実施しています。



## 「角フックボルト」 当社特許製品

JR東日本山形新幹線の鉄道橋部分に採用されている他、全国のJR、私鉄、第三セクターなどの鉄道会社で幅広く使用されております。累計販売実績は**41万本**です。



国内の鉄道橋約**125,000本**  
全長**3,175 km**  
(平成22年3月時点 国交省調べ)

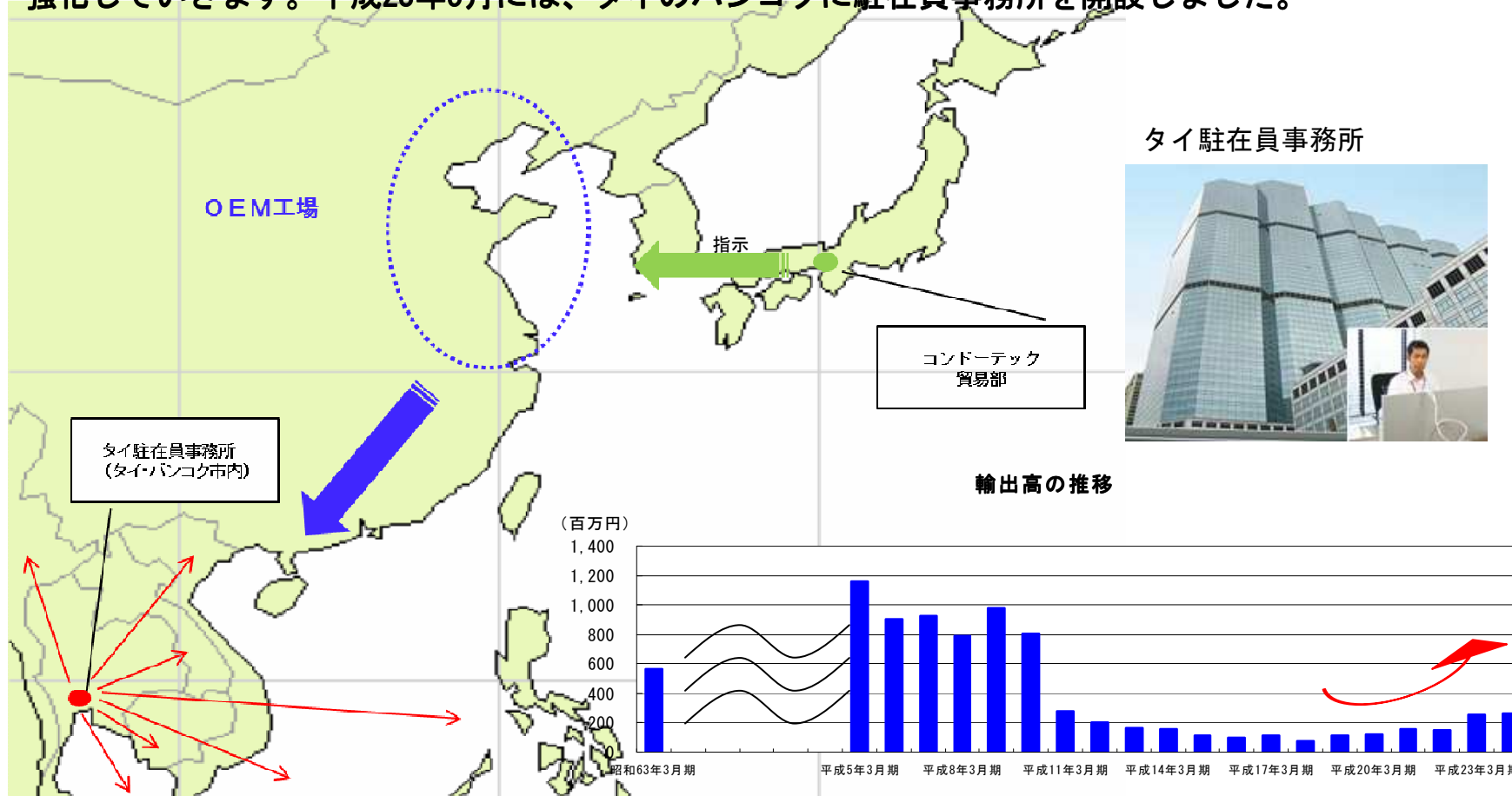
角フックボルトの潜在需要は  
大きいと推測される。



# 成長戦略⑥ 海外展開





昭和60年のプラザ合意以前は20億円程度の輸出がありました。平成9年にアジアの通貨が暴落した通貨危機で輸出が困難となり、輸入にシフトしました。その後、円高の影響を受けない体制を確立するため中国にOEM工場を十数カ所開設し、平成18年頃から輸出を再開しました。

今後は、経済発展が著しいタイ、インドネシア、ベトナムといったASEAN諸国との海外取引を強化していきます。平成23年5月には、タイのバンコクに駐在員事務所を開設しました。



東日本大震災関連資材の売上高（単体） 四半期推移

（単位：百万円）

	売上高				
	4~6月度	7~9月度	10~12月度	1~3月度	合計
仮設住宅用ブレース 	184	8	1	5	200
トラ綱セット 	121	3	1	0	126
コンテナバッグ 	72	62	79	67	281
ブルーシート 	38	44	36	33	152
土のう袋 	14	12	12	12	52
その他	87	52	45	53	239
合計	518	184	177	172	1,053

## 耐震資材 仮設住宅の建設に

【ターンバックルブレース】



被災地にて建設された仮設住宅で、このターンバックルブレースは、耐震用筋交いとして使用されております。このターンバックルブレースを取り付けることで、建物が横から押される力に突っ張って変形を防ぎ、建物の崩壊を回避する役目があります。

## 災害復旧資材 二次災害防止、災害復旧に



【コンテナバッグ】

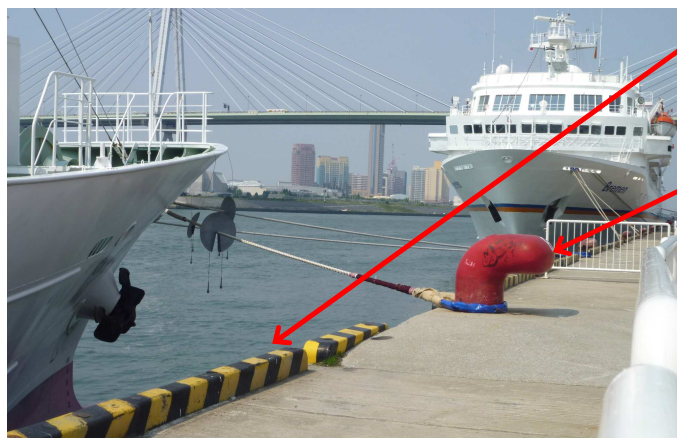
津波災害に伴う海岸線や河川等の護岸、土砂災害などの復旧作業に大型土のう袋として使用されております。その他、がれき処理や震災による汚染土壌および汚泥の掘削除去、移設運搬、仮置きにも適用できます。



【ブルーシート】

防水性に優れていることから被災した建物の屋根等を覆うことで、雨漏り対策や日よけ、埃よけなどの様々な用途で使用されております。

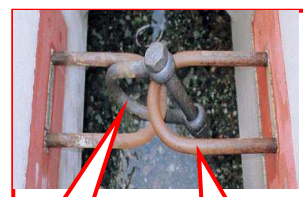
## 港湾資材 港湾の復興に



【車止め】  
車両の転落を防ぎます。

【けい船柱】  
接岸停泊を行う際、  
船とロープをつなぎ、  
船を岸壁に係留します。

【消波ブロック連結金具】  
波の力を分散させるための「消波ブロック」同士を  
連結する際に使用します。

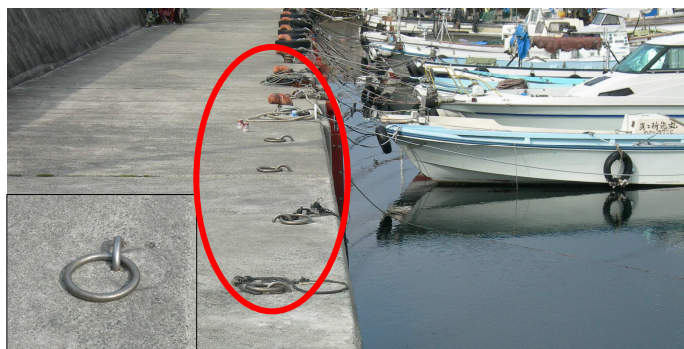


シャックル

ケーソン吊りアンカー



【けい船環】  
船舶に係留する際に、ワイヤーや  
ロープを結びつけるための環で、  
棧橋や埠頭などに設けられます。



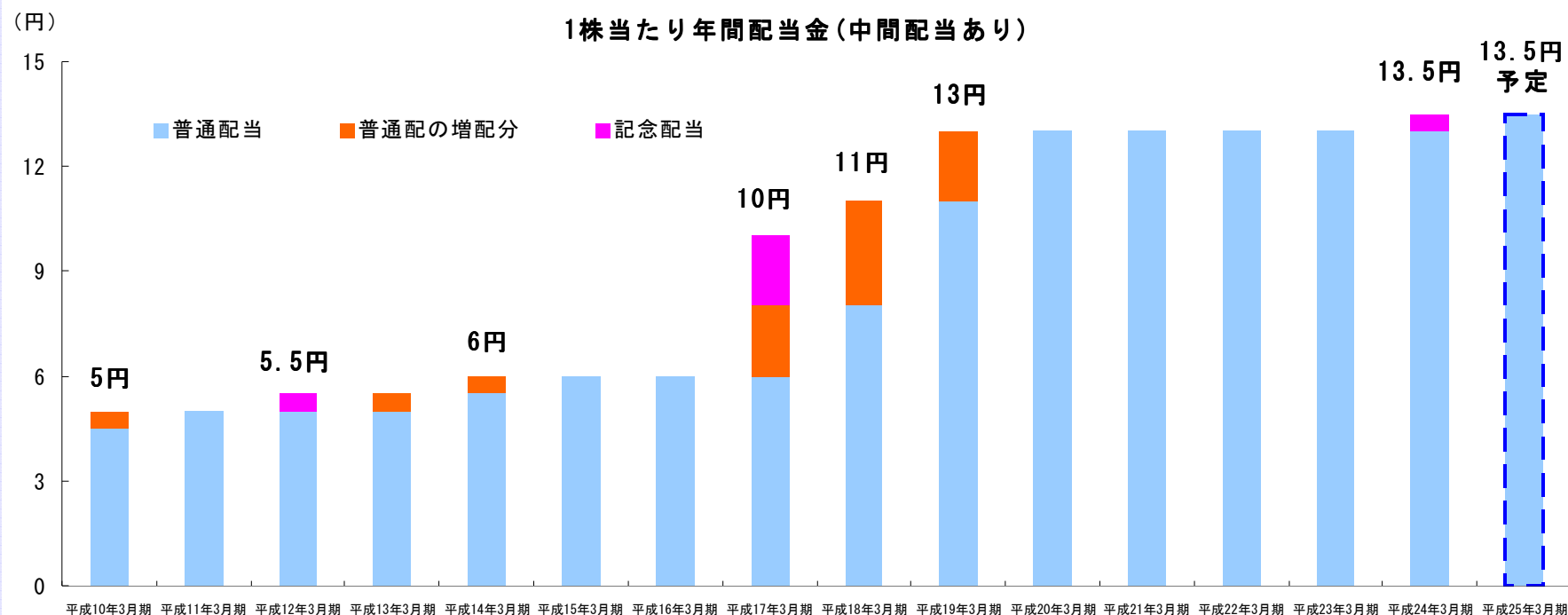
【ケーソン吊りロッド】  
ケーソンとは、防波堤や橋梁の基礎の構築のため、  
あらかじめ地上で製造しておく主として鉄筋コン  
クリート製の構造物です。所定の位置まで浮揚、  
引航して沈め、中詰めします。ケーソン吊りロッ  
ドは、ケーソンを吊り上げる際に使用されます。  
また、ケーソンの製作時には、当社製品でありま  
す丸セパレーターも使用されます。

ケーソン吊りロッド



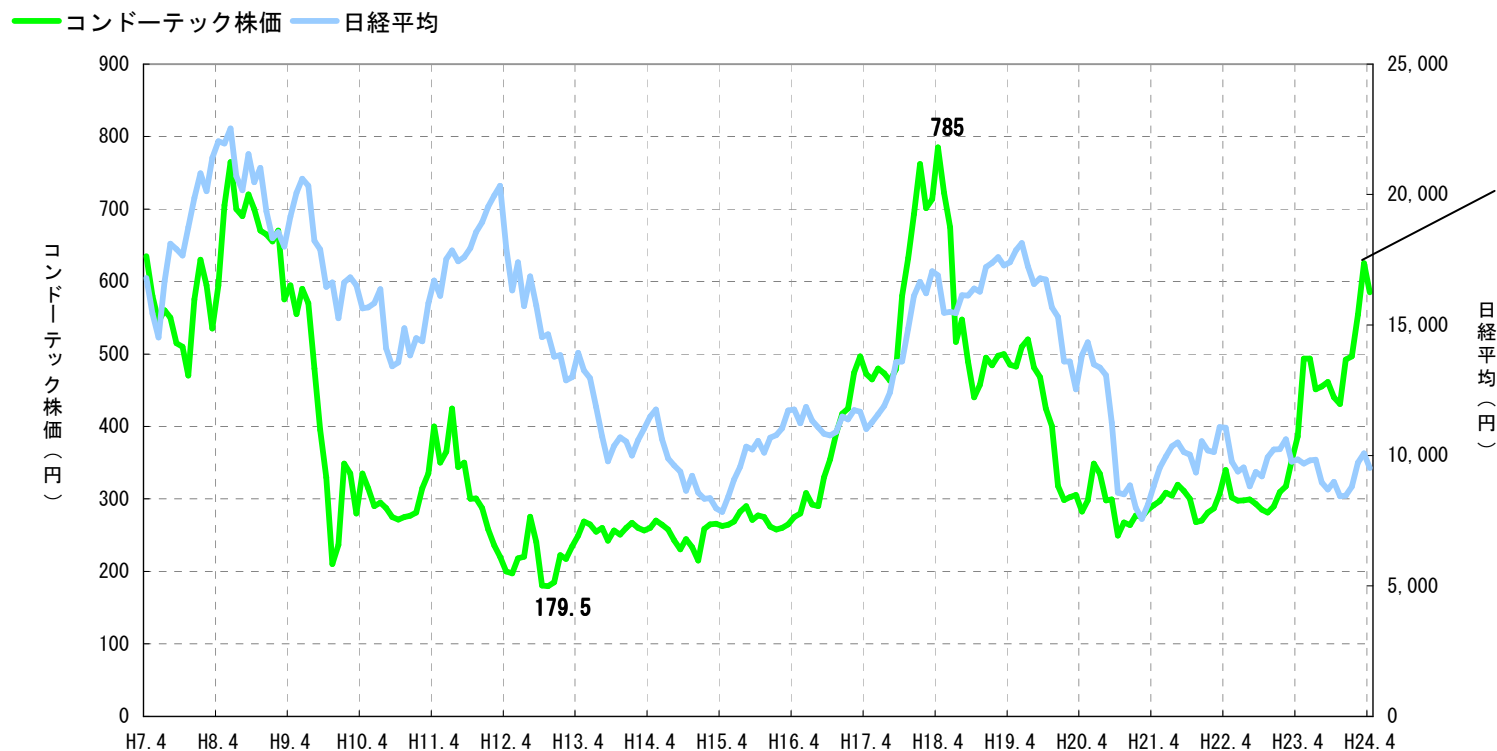
丸セパレーター

当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要な施策として位置づけ、「収益の向上」「企業価値の増大」を図りながら、配当性向を勘案し、安定配当を目指すことを基本方針としております。

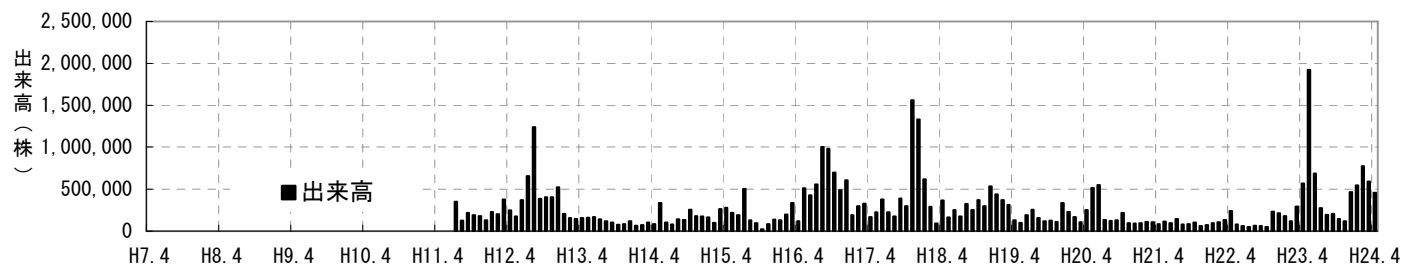


※平成24年1月1日付で株式1株につき2株の株式分割を行っております。  
これに伴い、1株当たり配当金は当該株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合の数値を表記しております。

# 株価チャート表



H24. 3. 末時点  
株価 : 625円



ご参考  
H24. 3. 末時点  
PER 15.8  
PBR 1.08

※平成24年1月1日付で株式1株につき2株の株式分割を行っております。  
これに伴い、上記株価、出来高は当該株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合の数値を表記しております。

## 見通しに関する注記事項

本資料には、業績見通しおよび事業計画等を記載しております。  
それらにつきましては各資料作成時点における経済環境や事業方針等の一定の前提に基づいて作成しております。  
したがって、実際の業績は様々な要因の変化により、これらの業績見通しとは異なる結果となりうることをご承知おき下さい。



〒550-0024

大阪市西区境川二丁目2番90号

TEL : 06 (6582) 8441 (代表) FAX : 06 (6582) 8410

ホームページ : <http://www.kondotec.co.jp>

E-mail : [kikaku@kondotec.co.jp](mailto:kikaku@kondotec.co.jp) (総務部)